

科 目 名	建設創造基礎実験実習Ⅱ Civil Experiments and Exercises Ⅱ			担当教員	宮崎 耕輔・松原 三郎					
学 年	2年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2			
分 野	専門	授業形式	実習	科目番号	15134009	単位区分	履修単位			
学習目標	路線、トラバース、間接距離の各測量法の原理を理解し、測量土補、測量士の資格試験に合格できる能力を涵養する。									
進 め 方	実習は1年生から継続している内容が多く含まれているので、必要に応じて既に学んだ内容との関連を提示する。授業内容の理解を助けたり深めたりするために座学との時間配分を調整し、その理解度・習得度を確認しながら授業を進め、全員が授業内容を理解できるよう配慮する。									
学習内容	学習項目(時間数)				学習到達目標					
	1. ガイダンス(1) (本科目の位置付け、授業内容と成績評価方法、集団実習によるコミュニケーションの大切さ、課題に対する取り組みや実行、データ収集における倫理観)				※ 水準測量を実施できる。 ※ 水準測量の結果を器高式野帳で整理できる。 ※ 水準測量の結果を用いて、縦断面図を作成できる。 (C-1, C-2)					
	2. 路線測量(29) (1) 水準測量による縦断測量 (2) 精度の点検 (3) 縦断面図の作成 (4) 新線の設置、ノリ勾配 (5) 切土、盛土、土工量									
	[前期中間試験]※									
	3. トラバース測量(20) (1) トランシット、光波測距儀の取り扱い (2) 光波測距儀による閉合トラバースの測量 (3) 測定結果の良否判定、誤差調整				※ 閉合トラバースの測量を実施できる。 (C-1, C-2)					
	[期末試験]※									
	4. 地形測量(10) (1) TS を用いた地形測量 (2) 数値地形図の作成				※ 閉合トラバースの測量結果から、面積の計算ができる。 ※ TS 地形測量を実施できる。 ※ TS 測量結果から、数値地形図を作成することができる。 (C-1, C-2)					
	[後期中間試験]※									
	後期末試験※									
	試験返却									
評価方法	・学習項目の2～4を同じ重み（それぞれ30～35%程度）とする。 ・なお、実習に含まれる内容の一部を、「測量学Ⅱ」の定期試験に含めることがある。									
履修要件	・特になし									
関連科目	測量学Ⅰ、建設創造基礎実験実習Ⅰ（1年）→測量学Ⅱ、建設創造基礎実験実習Ⅱ（2年） →測量学Ⅲ（5年）									
教 材	教科書：測量学Ⅰ、Ⅱ（コロナ社）、土木製図（実教出版）《1年からの持ち上がり》									
備 考	この科目は、指定科目ですので、この科目の単位修得が進級要件となりますので、必ず修得して下さい。そのため、原則として毎時出席し、成果物は期限内に提出すること（内容によっては再提出を要求することもある）。実習が可能な服装（帽子、実習服着用）で授業に臨み、作業を正確かつ迅速に実行できる力、共同作業を他者との話し合いのもと実行できる力身に付けていくこと。									